

令和8年度 北海道七飯養護学校おしま学園分校経営方針

【教育目標】

子どもを真ん中に—自立と社会参加に向けて必要となる資質・能力を身に付ける—

【学校経営の基本理念】

「子どもを真ん中に」を合言葉に、教職員・保護者・地域がワンチームとなり、子どもの20年後の幸せを共に描きます。

【目指す学校像】

学校と地域が互いに助けを求め合い、感謝したり感謝されたりする互恵的な学校

【目指す児童生徒像】

- ・見通しを持って、自分から安心して行動できる
- ・自分の思いを伝え、自分らしく表現できる
- ・社会の中で、誰かのために活動できる

【育成すべき資質・能力と3つの約束】

- 「分かる・見通せる」から、安心できる（知識・技能）

子どもの声：「次になにをやるか、自分で分かってほしい！」

- ・目で見て分かる環境づくり：言葉だけでなく、写真や絵カード、ICTを活用し、「次に何をすべきか」を子どもが自分で判断できる環境を全校で統一します。
- ・特性理解の基礎基本：なぜ視覚支援が必要なのか、なぜコミュニケーションツールを使うのか。自閉症特性などの専門的な理解を深める研修を充実させ、一人ひとりに最適な支援を届けます。
- ・「4月のパニック」をゼロに：年度当初の混乱を避けるため、前年度からの「準備の貯金」と年間計画の調整を行い、落ち着いたスタートを保障します。

- 「できる・選べる」から、自信がもてる（思考力・判断力・表現力）

子どもの声：「誰かに決められるんじゃなくて、自分でやりたい！」

- ・「自分で選ぶ」場面の創出：給食のメニュー選択や授業の課題選びなど、日常の中で「自分で決めた！」という成功体験を積み重ねます。
- ・食育を通じた自立：食事を単なる栄養摂取ではなく、「自分の体をつくる大切な選択」と捉え、食への興味と感謝、マナーを育みます。
- ・本物の社会での活躍：地域の行事に参加し、「自分の得意」を活かして誰かの役に立つ喜びを体感します。

- 「認めてくれる・つながる」から、うれしい（学びに向かう力・人間性）

子どもの声：「ありのままのぼくを好きでいてほしい！」

- ・「いいね」の文化（ポジティブ行動支援）：できないことではなく、小さな「できた」や変化を見逃さず、肯定的な言葉掛けを組織の文化にします。
- ・インクルーシブな社会へ：違いを認め合い、共に支え合う経験を通じて、誰もが排除されない「共生社会」のモデルを学校から発信します。

- 学部ごとの「目指す姿」

全学部で「行動マトリクス（望ましい行動の共通理解）」を活用し、一貫した支援を行います。

学部	重点を置くこと
小学部	安心・安全とリズム：登校時の状態把握や、毎日のルーティン定着。
中学部	働く態度の基礎：作業学習を通じたルール遵守と責任、相談スキルの習得。
高等部	自律と社会参画：ICTを用いた体調管理や、自ら助けを求める力の育成。

【持続可能な組織運営と働き方改革】

子どもを真ん中に置くためには、教職員の心身の健康が不可欠です。「見えない負担」を取り除き、教育の本質に集中できる環境を整えます。

- 業務の「平準化」と「スリム化」
 - ・季節のピークを分散：行事と分掌業務が重なる時期を調整し、「逃げ場のない忙しさ」を解消します。
 - ・伝統のアップデート：前例踏襲を見直し、「何のための行事か」を問い直してスリム化を図ります。
- 業務の「可視化」と「移管」
 - ・ステルス業務の撲滅：事務処理や調整にかかる「見えない時間」に上限を設け、削減できた時間を公表します。
 - ・地域・PTA への移行：地域連携業務などをCS（学校運営協議会）と共有・移行するなど、地域等の協力を得ながら余白の時間を生み出します。
- AI アシスタントの活用：個別の指導計画や文書作成の「0→1（たたき台作成）」をAIで自動化し、子どもと向き合う時間を生み出します。
- 専門機関等との連携：おしま学園等と連携し、個別のニーズに対する「目標や手立ての共有」を円滑に行います。
- ウェルビーイングの向上：同僚・協働性と自主・向上性の尺度を用いながら点検を行い、教職員が組織の状況を考えながら個人の能力を発揮することに「喜び」を感じることでできる環境を整えます。

【令和8年度の重点】

「子ども真ん中に」ワクワクする学校～チームから組織へ～

- ① 児童生徒の人権を大切にする学校
 - ・「生徒指導の基本的な考え方や具体的な対応方法に関わる共通理解」の充実（R 7：80.0%）
- ② やりがい、教職員としてのウェルビーイングを感じる学校
 - ・教職員による学校評価において「自律的共同群」に位置すると感じる教職員の増加（R 7：60%）
 - ・「例年の内容をより効率的・促進的になるように取り組んでいる」教職員の割合（R 7：62.0%）
- ③ 保護者や地域住民、関係者とのつながりを感じる学校
 - ・施設職員・地域住民による学校評価回収率の向上（R 7：47.6%）